

## 困難を乗り越えるために

校長 川村 尚史

3月2日(月)から始まった臨時休校も3週目を迎えました。本来であれば、1年間の学習のまとめを行ったり、卒業式に向けての練習や準備が本格化したりする時期なのですが、子どもたちがいない校舎は静けさに包まれています。

現在、子どもたちは、「学校で勉強したい」「友達と遊びたい」といった気持ちを抑えながら、家の中で我慢の日々を過ごしていることと思います。そのストレスは計り知れませんが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、辛抱強く頑張ってもらうしかありません。手洗いや換気をこまめに行ったり、栄養や睡眠を十分にとって抵抗力を高めたりしながら、残りの休校期間も無事に過ごしてくれることを願っています。また、ご家族の皆様におかれましても、健康に留意されながら、子どもたちが安心して過ごすことができますよう、ご配慮をよろしくお願いいたします。

さて、今回の新型コロナウイルスに関する不安の1つに、マスク不足がなかなか解消されないという問題があります。病院や高齢者施設など確保が優先されるべき機関や、北海道など感染者が多い地域にさえ、未だ十分な数のマスクが行き渡っていません。その背景に、一部の心ない人によるマスクの買い占めと高値による転売があったことはご承知のとおりです。人が困っている状況につけ込んで金儲けをしようとする感覚は、私には理解できません。

「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる」

これは、詩人 相田みつをさんの有名な詩の一節です。まさに国の危機とも言えるこの困難を乗り越えるために、こうした助け合い、支え合いの精神こそが重要なのではないのでしょうか。きっと、マスク不足も少しずつ解消され、新型コロナウイルス感染そのものも終息に向かっていくはずです。自分の命、家族の命、まわりの人の命を守るために、もうしばらく、一人一人が自分のできる最善を尽くし、冷静に、節度ある行動をとっていきましょう。

- ※ 3月24日(火)に卒業式が行われる予定です。在校生と来賓が出席しない式となりますが、教職員一同、卒業生の保護者の皆様とともに、6年生25名の卒業を祝福したいと思います。
- ※ 3月25日(水)に予定されていた離任式は行いません。そのため、退職、転出する教職員から、子どもたちに向けて直接お別れの挨拶をすることができません。後日、書面にてお示しすることをご了承ください。

1年間、藤塚小学校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。